

12月積みGI原板商談、中国ミル20ドル値上げ

12月積みGI原板商談がスタートした。中国ミルがホットコイルや冷延に続きGI原板も11月比20ドルアップでアフリカ向けなど遠隔地向けで提示している。この値上げが通ればGI原板も底入れとなったものと受けとめられそうだ。

GI原板はまもなく需要期に入る。だが、12月積みではまだ需要が本格化していない段階である。ただ、遠隔地では11月積みで成約した顧客が少量ながら追加出荷の要請がでてきている。これ以上の下げはないと判断したのか在庫補充に動き始めた気配もある。中国ミルのオファー価格はCFR740ドル、FOB換算では640ドルどころだ。これに対して韓国のPOSCOは10～11月積みを実施した30～40ドル下げといった派手さはないが、依然として下げムードの様相。CFR720ドル前後の様相だが、数ドルと小幅の値下げを受け入れる姿勢を示しているとされる。

需要がまだ盛り上がっていないだけに12月積みで値上げするのはPOSCOの姿勢をみても難しそうだ。しかし、日本ミルはこれ以上の値下げを阻むためにも10～20ドルアップと僅かながらでも値上げを提示する見通しである。